



令和8年8月

堀田

(PC 編集 MR.荒木)

近所のおっさん (その3)

目次

(笑 102) 苦手なやつ.....	4
(笑 103) それ 励ましなの	4
(笑 104) 疲れた会話	5
(笑 105) 今さらながら	5
(笑 107) ルールを守って	6
(笑 108) それで良いよ.....	7
(笑 109) 暑さで 夢までが	7
(笑 110) 気付かぬところで	8
(笑 111) 勝負にならん.....	8
(笑 112) 竹の節.....	9
(笑 113) 輪から 外れて	9
(笑 114) 遠い星空	10
(笑 115) 蟬に負けずに	10
(笑 116) 聞いたからには	11
(笑 117) 連日の ぼやき	11
(笑 118) 話の流れが	12
(笑 119) 涼しさは 何処に	12
(笑 120) 良いのか 悪いのか	13
(笑 121) 心を支えるヒント	14
(笑 122) 出会いの楽しみ.....	15
(笑 124) 感謝のひと時	16
(笑 126) 青は危険と裏表	17
(笑 128) 奥様には負けそう.....	18
(笑 129) 危ないあぶない.....	19
(笑 130) 忘れがちなこと	19
(笑 131) 何を食べようか	20
(笑 132) 気持ち新たに	20
(笑 133) それ詭弁みたい	21
(笑 134) 日頃の姿勢	22
(笑 135) 調子狂うなあ.....	22
(笑 136) 話しかける世界	23
(笑 137) まだ なんかやれるぞ.....	24

(笑 138) 無くなりきれるか	24
(笑 139) 少し知って 少し知られて	25
(笑 140) その言葉 生きてる	26
(笑 141) 確かに 誰かが	27
(笑 142) 自然の懷に	28
(笑 143) そよ風を感じたい	29
(笑 144) 独りぼっちはダメ	29
(笑 145) 無理せず 挑戦を	30
(笑 146) 身近な存在	30
(笑 147) 待ったなし	31
(笑 148) 歩み寄ろうよ	32
(笑 149) 危なっかしいけど	33
(笑 150) これが我が道	34

(笑 101) しっかりせな



何 見てるの
近づいてるかなあ
星空か
ベガ アルタイル デネブ 夏の大三角だよ
きょうは セタなんだね
あの 織姫と彦星は 天の川を渡って会えるの
だ
あんた すっとぼけてるな
なっ なんでよ
2つの星は 秒速 30 万 km の光でさえ 15 年もかかる距離にあるんだぞ
それじゃあ 1 年に 1 回 7 月 7 日に逢えるという話は何だよ
それは結婚させた天帝が 怠け癖のついた 2 人を引き離したが 切ないので 一年に一回だけ逢わせることにしたからだ
なんだよ それ伝説かあ
だから 一晩のうちに 2 人が逢うなんて事は実際にはあり得ないんだ
夢を壊すなあ
でもさ 現実を捉えた上で なお想いを巡らすことも楽しいし 大切だと思うよ
事実を見極めた上での前進だね
わしらの日々の生活に言えることなんだよ
ボーとしてると 宇宙を走れんか

(笑 102) 苦手なやつ



雑草を モタモタ袋詰めしてたら やられたよ
何を奪われたんや
いやあ なけなしの大事な年寄りの血
藪蚊にか よほどの腹すかしやったんやな
なんやてえ
たいして旨くなくても 生態系の保全や
よく言うよ
あんたも食物連鎖に貢献や
しかし 腹立つやつちゃなあ 半ズボンの弱みにつけ込んで
2500 種以上にも及ぶ人類にとって最も有害な昆虫や
そうやな恐ろしいマラリアなどの感染症の媒介屋
チョコレートが無くなるのも嫌やけど
関係ないやろ
カカオの花には受粉用の糠蚊が必要やねん
そんな貴重な蚊もおるんかいな
それに幼虫のボウフラは水面に漂う格好の餌でもある
し
二酸化炭素の多いとこや温度高め場所は避けるべきや
ほなら汗かきや酒のみは危ないな
ええっ わしかあ
酒を飲んで溺んだ道路にころがってると餌食になるぞ

(笑 103) それ 励ましの



出かけるよ 夕方には帰る
何処いくの
散歩だよ
今からなの
ああ 気が向くままに
足も向けなくちゃね
どう言う意味や
深い意味はないのよ ただの接尾語
それにしては引っ掛かるなあ
気にしないで
人間たる所以は二本足で歩くことにある
大脳運動野ニューロンの活動により脊髄運動ニューロンが連動し 支配下の手足骨格筋が収縮し歩行開始となるのよ
そんな難しい事は分からんけど 兎に角歩くのだ
相乗効果を生み 益々脳の成長に貢献できるわ
そういうことか
それにしては脳の働きはもうひとつね
何だそれ
誤作動をおこして足がもつれないようにお願いします
挫けるなあ

(笑 104) 疲れた会話



この料理どうかしら
美味しいね
そう
取っという
あら わからないわよ
えっ 何で こんなにあるのに
でも わたし 食べるのこれからよ
うん
残らないかも
そっ そんなアホな
なに ブツブツ 言ってるの
いや ボソボソ独り言だよ
そうかしら 私には 不満げに聞こえるわよ
あっ いえ もうどうでもいいです
よくないわ 思ったこと はっきり言わないとね
そうなの
そうよ
じゃあ あのう これ美味かったので すこし残し
ておいて下さい
あらら 残念ね 美味しいなら 全部食べちゃうわ
さっきの会話と どう違うんだろう

(笑 105) 今さらながら



あなた さっきから鏡に向かって何してるの
だから 左右のこと
どうしたの
この右手で右の頬をさすってるだろ
そうよ
だけど 鏡では左手で左の頬になってるよ
あら そうね 変だわ
今まで不思議に思った事ないよ と言うか 不思議だ
と思ってもそのまま受け入れて来たよ
そうね そう言えば私も 当然のように鏡を見てたわ
頭がおかしくなって来たぞ
落ち着かないわ
プラトン以来 2 千数百年 未解明で今も議論が続いてるら
しいぞ
あら 未解決なの
鏡映のあと 180 度回転を施すことは 左右反転と同値で
ある なんてわたしにはちっとも分からん
つまり 鏡の自分は 前に後頭部があつてうしろに顔
がついている化け物でそれを 180 度回転させるとまともに
見えると解釈するのね
何だそれ
私に聞かないでえ

(笑 106) 流れに乗れない



スーパーは役に立つけど 腹も立つ
あら どうしたの
どうもこうも うるさいんだよ
何が
カネ入れろ カネどうした って
でも 買ったらお金払わないと
そら払うよ
じゃあ 良いじゃん
良かないよ そんなに急かすなよ
最近は何処もそうよ さっさと機械の指示
通りにすれば良いでしょ
どこに入れるんだ この小銭を お札を
それぞれ開いて待ってるでしょ
くそっ 焦るなあ
落ち着いてよ
それに 店員が早くせんかとじいっと見てるぞ
見守ってくれてるのでしょ
そうかなあ この爺さん 何やってるんだと言う顔
気にせず 画面のボタン押したら
あのな 手が縮こまって 言うこと聞かんのよ
もう駄目だわ

(笑 107) ルールを守って



ちょっとゴミ出してくる
何の
燃える家庭ゴミ
あっ それ昨日だったの
何で
月曜と金曜なの
だっ 誰が決めたんだ ゴミは四六時中出るよ
あなたは家から出せば済むけど そこからすべて
は始まるのよ 収集車からクリーンセンターで乾燥と焼却
焼却灰の冷却 そして埋め立て地利用やセメントへのリ
サイクル
へ～え
なんでそんなにゴミが出るのよ
ガラクタ人生 出るわ 出るわ
変な人ね
汗と涙の結晶やら
そんな時があったの
出すのを惜しむ物も
少しは知恵も出せないのかしら
知恵熱は出るよ
あなたのは ただのぐーたら風邪
考えるゴミ出しか
ゴミの気持ちにもなってね

(笑 108) それで良いよ



あっ おはよう
うん おはよ
今朝は なんか すっきりね
そう 快調だ
変ね どうしたの
起こされずに 起きたぞ
そういえば
顔も洗ったしな
まああ いつもは洗ってなかったの
早口言葉も練習したんだ
やるじゃん
そうだろ すべてが違って見えるぞ
素敵だわ
奥さんも何だかいつもより品が漂う
なにそれ
今日は 昨日の俺じゃないんだ
頼もしいわ
人生この歳にして道が拓ける
年老いてもなお成長ね
一昨日の俺なのだ

(笑 109) 暑さで 夢までが



けさ方 うなされたようね 声出してたよ
あっ 夢見たんだ
珍しいわね
うん たわいも無い夢
あなたにも 何か気になることあったんだ
偶にはな
良かった まだ扁桃腺は元気みたい
夢には どちらかと言えば 頑張っても あと一歩で
追い付けない深刻なシーンが出るよね
そうね 運動会の競走とか 何かを必死に欲している時
ね
先日用事で上大岡までバスに乗ったでしょ 若い女
性が 乗り遅れて 後方から懸命の身振り手振りなのに
運転手が気付いてくれず 悔しさとおっ恥ずかしさの顔し
てたよ
そうなの
しかも系統違いの 2 台のバスの団子運転だったの
に
まあ よほど運が悪かったみたい
そんな情景に共感したからか 夢にまで現れたん
だろう
意外と感受性豊かなのね
次は楽しい夢を見るぞ
どんなの
え~とそうだな バス待ちに 枝豆付きの生ビール
飲んでる余裕のよっちゃんとか
くっだらな夢ね 酷暑だからって

(笑 110) 気付かぬところで



爽やかな顔
いつもそうだよ
でも きょうはスペシャル
読心術に長けてるんだな
なにかあったの
今ね ごみ掃除に出会ったの
当番の人かしら
いや近所の旦那 時々掃除見かけるよ
そうなの
ごみケージの周辺に散乱した屑を集め 道路
にこびり付いたカスを水洗いしてるんだ
あなた お手伝いしたの
もう終わりかけてたから ちょっと挨拶
誰も気付かぬ所での思いやり 頭下がるわ
確か以前は 老婦人が気配りされてたね
その息子さんよ 後ろ姿をみてたんだ
網の破れから食い荒らした張本人は 電線で
なお機を窺ってるぞ
カラスの環世界ね
なんだか 負けそう

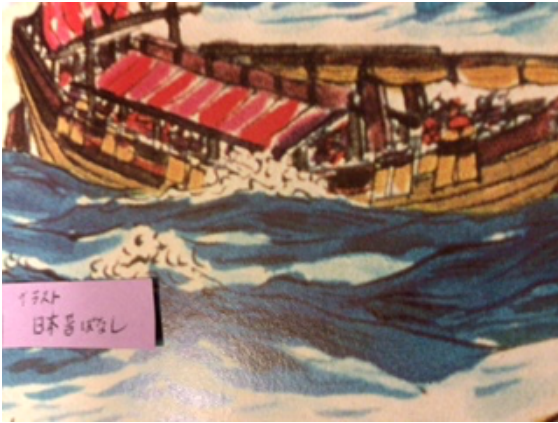
(笑 111) 勝負にならん



なんなの
やられたわ 赤いやつ
えっ ミニトマト
そろそろ あしたにでも収穫と思ったのに
プランターに一本だけ植えたのね
ヒョロヒョロの茎だから 多分野鳥の仕業だ
近くの茂みを住処にしてるのよ

ギャアギャア 煩いとは思ってたけど
熟した実は甘くて美味しいから
そうだね 家庭栽培ならではの完熟さ
残念ね 不織布でも被せたらどう
それじゃあ 不自然で情緒がないね
でも 四六時中 鳥と睨めっこも大変よ
それもそうだけど
果樹園や農家の人の気持ちがよく分かるわ
時間をかけた苦労が一瞬にパァだから
脳の皺では鳥に負けてないでしょ 頑張って
しかし 老爺には劣勢だ
なんで
暑さが危険度を遥かに越え トマトが霞んで良く
見えん

(笑 112) 竹の節



人って 強いようで弱いなあ 弱いようで強くもあるけど
あらら 又何かしら
春先のあのヨロヨロは何だったんだろう
風邪で寝込んだことね
ぐったり3週間 ベッドから起き上がれず 腰と手足が 痺
れて痛み それこそ もう駄目かと
そう言えば 変だったわ
処方箋もたいして役立たず 結局は時間と気力で
自然の治癒力かしら 良く分からないけど
人の身体は リズムが外れた時こそが肝心だね
そうね
冷静に忍耐強く対処することで 更なる健康を目指せるのだ
と思う
苦境に遭い そして乗り越える そんな節目の連続か
しら
節といえば身近な孟宗竹は 地下茎から栄養補給しながら
節のおかげであのしなやかさと強度を増していく
地中に張り巡らされた茎の節から 次々に生まれ出る
タケノコが既に生得 60 もの節を持ってるなんて
互いに一本一本支え合って成長しているんだ
人もそうありたいわ
そう 平和な社会を目指すには 人の連携力が不可欠だよ
竹のような たくましさを秘めた人達のね
くたびれては居れんぞ
あなたの節 変色してるけど

(笑 113) 輪から 外れて



なんだか会話が盛り上がってるね
あら だって
弾んだ声が飛び交ってるよ
ええ おもしろいわよ
残念 言葉の端々は理解できるが 何の話か聞き取
れないの
あっ そうだった 感音難聴ね
スピードにも ついて行けないよ
たいしたこと話してないんだけどなあ
それだから よけい辛いね
困ったわね
聞き直すのも白けるし 話を振られても うんって笑う
以外に無い
その補聴器も役立たずなの
たいしてね
大声でゆっくり話せると良いけど それじゃ間が
抜けるわ
と言っても 耳元で大声出されると 逆に耳が割れそ
うになるし
そうなの
聞けないから 話すのが億劫になって ますます老化
が進みそうだ
誰もが 遅かれ早かれ歩む道かもね

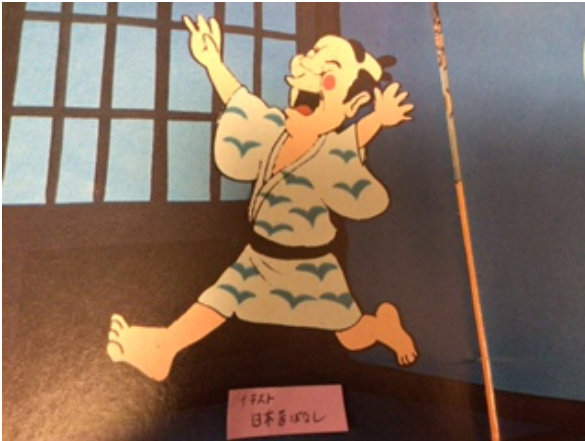
談笑の蚊帳の外 我に返れば 鼻提灯
それって 寂しいね

(笑 114) 遠い星空



あれ見て
あれって どこだ
あそこよ
ええっ あれか
いや もっとむこう
どれどれ
ちゃんと見えてんの
見えんよ
変ねえ あんなにハッキリ
そうかあ
頼りないわねえ
そんなこと言っても
あっ 綺麗に光った
どこだ
あれ
駄目だ 全く分かん
どうしようも無いわ
何が見えて光ったの
1 兆個の恒星からなる 250 万光年先のアンドロメダ銀
河よ
あなた 目も確かなんだねえ

(笑 115) 蟬に負けずに



茹るような強烈な暑さだ
このところ又 危険指数を超えた日が続くわね
やりきれんわ 外に出るとジージー ミンミン煩いし
あら 蟬の合唱は 夏らしいわよ ジリジリ焦げ
付いて
そうかな
一生懸命なのよ
何が
彼女を呼び寄せるのよ それぞれの音色で
そうなのか 必死の競争劇か
空洞の腹の中の 2 本の発音筋を震わせて音を
出してるのね
なんだか けな気に思えてきたよ
そうでしょ カナカナカナ ツクツクホーシ って
聞こえると 物悲しさも漂ってくるわ
ああ あの怪しい響きに会うと胸が締め付けられるね
短い一生に命を賭けてると思うと 応援したくな
るし
彼らは彼らの世界で頑張ってるんだ
今からでも遅くないわ 何かやりなさいよ

(笑 116) 聞いたからには



けさ テレビで炭酸水のテーマ放映してたよ
へえ 温泉に浸かって炭酸煎餅食うの
もっと まともな話
それ以外にあるかね
相変わらずの 単細胞ね
うむ
飲料や料理用の効用の話よ
炭酸ガスを摂り入れるのにはちょっと抵抗
あるなあ
何言ってるのよ あなたもよくハイボール飲むで
しょ
そうか そう言えば サイダーとかコーラも
美味しいな
あれは糖分に要注意だけど 純粹の水だけの炭
酸水は身体に良いのよ
どうして
炭酸水に溶け込んでいる二酸化炭素が胃粘膜
の血管に入り込み 一時的に血液中の二酸化炭
素濃度を高めるので より多くの酸素を
思い立ったら止まらんわい

(笑 117) 連日の ぼやき



ひゃああ~ 8月末だと言うのに
どうしたの
この熱風どうかしてくれ
確かに暑いわ この夏の最悪かも
地獄の大王も熱中症か
悪事が蔓延るわ
流石に空き巣狙いも開店休業だろ
でもね 今の地球は間氷期から氷河期への途
上 長期的にはやがて寒冷化の時代になるのよ
長期的ってどれくらい待つ
そうね 数万年もすればね
なんなの そんな話
利根川も琵琶湖の水もガチンガチン 人間も氷
漬け
考えられんぞ
これからの地球の将来にとっては大切なのよ
そんな学術研究をしてる場合か
でもこんな時こそ 涼しい話を
わしは今 この猛暑をどうにかしたいのだ
どうにもならないわね
ゆで蛸のまま ただ座って耐えるのか

(笑 118) 話の流れが



おはよう

あら 珍しいわね

何が

あなたがからの声掛け

うん

今 ほうじ茶いれるわね

いや今日は紅茶とパンにする

えっ ご飯じゃないの

ああ 偶には 習慣を変えてみるよ

はてはて

何か違った景色を見たい

そう じゃあ いっそのこと 支度からやってよ

そうしてみるか 料理の大変さが身に染みるかも

そうねえ 感謝の気持ちが芽生えるわよ

自作品に心ときめくしな

献立から食後の皿洗いと水回りのクリーンま

で 一気通貫の作業 きっと楽しくなるわよ

これまでに無い違和感が 脳の活性化にも繋がるかな

良いことづくめね

そうだね

ず~と頑張って続けてみてね

(笑 119) 涼しさは 何処に



いよいよ 明日の未明から明け方に 月を食うぞ

何を 急に

えっ 知らないの

非現実的ね

皆既月食だよ

ああ 兎さんとの隠れんぼね

今やそんなお伽話の世界では遊んでおれんのだ

あらまあ

長月だと言うのにこの猛暑は何なのだ

涼しくなってくるわよ

あちこちで脅威のゲリラ豪雨 竜巻状突風

台風の季節なのよ

地球は超異常現象でなんだか怖いぞ

そうね

地上のつまらぬ争いに 自然が怒ってるのか

自然だけでないわ

えっ

気がつかないの

何が

ガス栓消し忘れ 水道出しっ放し

(笑(120) 良いのか 悪いのか



うむ この甘酸っぱい芳香はどこからだろう

ああ 葛ね

クズって あの厄介な蔦のこと

濃紺紫の花は意外と可憐でしょ

うん

何処にでも茂ってるブドウ科多年性植物

そう言えば 歩けば目にするなあ

花は万葉の昔から秋の七草の一つとして

親しまれてきてるわ

いやあ 隣の空き地から伸びて我家の庭木にグルグルからみついて 始末におえんよ

そうね 遠目には一見緑化に役立ってるけど繁茂するとうんざりだわ

昔 よく葛餅食ったけど これかあ

塊根の澱粉は和菓子や料理の材料になる

わ それにあなた 風邪の初期症状で漢方の葛根湯飲むでしょ あれ発汗解熱用のよ

へえ 薬剤にもなってるの

花はハーブティー 葉は家畜飼料 つるは布用繊維 それに茎はバイオ燃料にも

花から根まで利用できる万能植物なんだね

でも生命力が強く 日に 40 センチも伸びると言われる脅威のスピード

ひゃあ 切っても切っても伸びるわけか

地中から根こそぎにしないと 根が残っていると繁殖を続けるわよ

もう あかん 日本中が葛に巻き付かれそうだ

ありがた山の もてなやみぐさ かも

(笑 121) 心を支えるヒント



どうしたの 何か考え事なの

うん ちょっと

気になることあるの

逆転しない正義って何かなあって

それ 朝ドラの あんぱん だね

そう ヒロインが追い求めているものなの

なんだか難しそうだな

そうかな 重要なテーマが隠れてるわ

正義だと信じたことがひっくり返り絶望のどん底から必死にもがきながら求める本当の正義とは

不幸な戦争体験が源流にあるのね

正義のために戦っていると思っていたが実は立場が逆転すると互いに傷つけあっているだけの愚かさや虚しさに気付くんだ

相手を悲しませ傷つけることは決して正義とは言えないわ

何事も相手の立場になって考え相手を尊重しつつ共に助け合って生きることが大切なんだね

自分の言動がどう言う意味を持つのか常に考えたいのよ

毎日の生活に大事なことだ

そうなの

私達一人ひとりが日々の生活の中での正義を考え 正義を求める努力の積み重ねこそが たとえ微力であっても世界平和への礎となると思う

アンパンマンがアンパンを届けるように 困ってる人や貧しく飢えてる人に食べ物を差し出すことは 国や立場が変わっても 決して逆転しない正義だとしての

絶やさぬ正義への見極めとその事実の真摯な受け止めが大切だね

人間同士の悲惨な争いは 今すぐやめてほしい と言うメッセージも聞こえてくるわよ

(笑 122) 出会いの楽しみ



庭の紫蘇が今年は勢いがあるね
そうよ びっくり
蚊の額ほどの畑にギッシリだ
落ちた種で勝手に育つのね
野菜の肥料と異常猛暑のせいかな
醤油や梅干しによく合って美味し
いわよ
それにハーブだから健康にも良いしね
あなたのアルコールのおつまみに
も
あつ 思い出した 鶏ささみの梅紫蘇巻
き食べたい
きのう ヤクルトのおばさんが群生
に気付かれたのでお裾分け 好物なん
だって
それは良かったね
暑さの中 汗にまみれて自転車を
走らせる姿をみると 少しでも応援したく
なるわ
そうだね それに ちょっとした会話で心
が和むでしょ
良く知らない人でもひと言ふたこと
で心の安らぎを覚える
互いに別の世界に住んでるけど 偶々の
出会いで 旧知の友人のような懐かしさ
が湧いてくるんだ
素敵な人に又ひとり 巡り会えた
喜びもあるわよ
折角のこの暮らし その出会いを大切に
したいね
いつまでも追いかけていたい

(笑 123) 油断できない



静かだ
蝉の鳴き声が 聞こえないわ
うん
そろそろね
もう足腰がすっかり弱くなったよ
腰があるの
しがみついて泣くほどの気力も無いしな
そうなの
恋の時期も過ぎ去った
何の話
わしの今日この頃
あなたのことじゃ無いわよ
そうなのか てっきり
待望の秋がそこまで来てるの
しかし もたもたはしておれんぞ
誰が
秋がさ
なんで
ボヤッとしておると冬に越されるのだ
えっ
冷房とかき氷から 一気に暖房と豚汁の世界へ

(笑 124) 感謝のひと時



そんなにガツガツ食べないでえ
えっ
ワン太郎みたいに 飲み込んでるじゃな~い
そうかあ
誰も取らないわよ 2人きりなんだから
そうだった ガキの争奪戦じゃないんだった
そう言えば あなたのところは 兄弟姉妹多かったわね
わし末っ子だったんで モタモタしてると無くなっ
たの
分かるわ
味は二の次 兎に角 腹を満たすことだった
今は安心して良く噛んで食べてね
旨いものは冷めないうちにとと思うから余計早くな
ってたよ
顎をしっかり保ち 胃腸の負担を軽くする為に 最低
20 回ぐらい噛んでね
数回で呑み込んでたぞ
作物を育てた人 料理を作った人 そして周囲の人々
皆んなに感謝しながら ゆっくり味わって下さいな
そっ そうだね
あっ もう一つ肝心な事を思い出したわ
何を
咀嚼は あなたのその 忘れ去られた脳の刺激にも役
立つのよ

(笑 125) 懐中電灯はどこ



あつ 警報よ わああ すごい煙
何だ なんだ
警報器止めてよ はい 脚立に乗って
このボタンか
窓も開けなきゃあ駄目よ
蛾や虫が入るぞ
そんなこと言ったられないわよ
秋刀魚もろくに焼けんな 換気扇が潰れとる
もう古いからね 取っ替えなくちゃ
又 出費か
仕方ないわ 蓄えまだ残ってるでしょ
年金の足しに食費にまわしてるんだぞ
この前 朽ちた窓枠の全面修理したしね
これからあっちこっち家屋がずっこけそうだ
困ったわ お先真っ暗
もう既に暗いよ
あなた何してんの
腕立て伏せ
突然 どうしたの
もう 病気にはなれないんだ

(笑 126) 青は危険と裏表



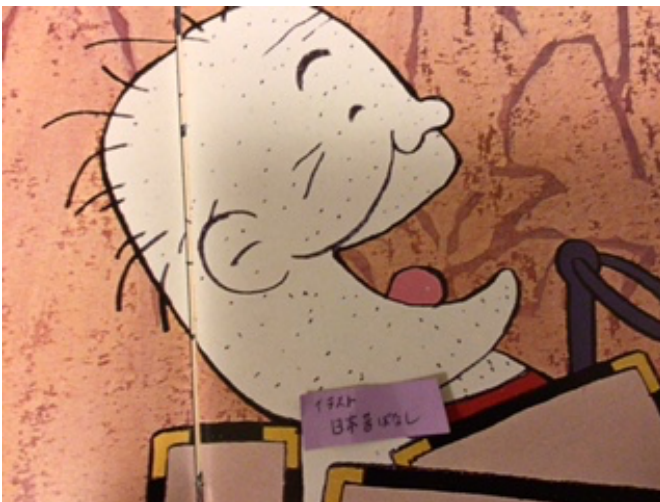
よし 今 渡れるよ
ああ
右左見ながら えらい慎重やな
青信号だからと安心できん
えっ
敵は赤に 猛然と突っ走って来るんだ
あんなあ 闘牛やってるんじゃないぞ
最近よく発生するだろ 青で渡ってる学童が轢
かれるの
そう言えば 大人も子供も横断中に事故に遭ってるな
もう 信用ならんのよ
飲酒運転もあるしな
こちらが真面でも轢かれ損の損だよ
それにあんたは 颯爽とマント翻して避ける事など出
来んわな
あほか 俺じゃのうても そんな軽技でできるか
物騒な世の中やな
自分すら信用できんのや
それは重症やぞ
この頼りない足腰と思考力で何が出来るねん
そうかあ
石橋を叩きまくって それでも渡らんわ

(笑 127) 心丈夫な存在



あら 救急車の音よ
うん 坂の上の方に行くみたいだ
こんな夜更けに
緊急に 夜も昼もないだろう
どうしたのかしら 心配ね
他人事じゃないから気になるよ
そうね もしお年寄りなら助けを呼ぶにも大変だわ
救急のサイレンを聞くと何かいつも動悸が激し
くなる
急に現実の我が身に引き戻されるのね
瞬時 脳の緊急指令が体中を駆け巡るみたい
だ
自分の身体は大丈夫かなとの思いからかしら
そうだね 持病をもつてると殊更に
ホッと安堵の気持ち と同時に 近隣のその安否が気
掛かりにもなるわ
健康である事に感謝だね
救急車は不可欠で安心の拠り所 でも暫くはご厄介
にならずにいたい
自分勝手だなあ 私達は
そうなのね
たった一人で暮らせないこともよく分かっている
皆んなで協力し助け合って生きて行きたい
人間だからね

(笑 128) 奥様には負けそう



近頃 無くなったねえ
何があ
鋭いその ツッコミが
そうかしら
どうしたの
あなたが進み過ぎたのね
そうかあ それは嬉しいな
えっ
毎日の新聞熟読と知恵の輪で鍛えとるからね
そのわりには 何も知らんじゃな~い
ののちゃんが楽しみだ
漫画だけなの どうりで
足りんか
あのね 加速度が増したのは ボケ
なぬ
だから ツッコミが出来ないのよ
そっ そんな
振り回されたボケが遠心力で地球から飛び出
したのね
げえ
ロケットで追いかけて 突っ込まなきゃあ

(笑 129) 危ないあぶない



この前の話 どうなった
え~と なんだっけ
ええ加減やな 例の投資
ああ あれか やめとくわ
なんやねん 小遣い稼ぎにはなと思うけど
それが怖いねん 皆 引っ掛かるのはその手
の話や
そうかな
あのなら 赤の他人に儲けさせる話は危ない
ふ~ん
そんなお人好しは世の中におらんよ 良い話
ならこっそり自分でやりおるわな
そらそうやな わしかてそうする
やろ 俺は 自分以外を信じ無い事にしとるぞ
寂しいけど そうかな
投資 保険 ましてや警官装った詐欺など氾濫
しとる
そういえばこの前 滞納金振り込めと 身に覚えのない
変な電話があったなあ
片っ端から相手構わず 仕掛けとんや
書面ならまだしも 電話なら証拠も消し易いしな
この歳になって 年金暮らしの俺にそんな金
何処にあるねん
その捨て鉢にこそ 油断と隙の風が吹く

(笑 130) 忘れがちなこと



あなたはどうかしら
何が
パスカルがパンセで言ってるでしょ
なんか言ってたな
人間は 考える葦 だって
そうそう それだ
自然のうちで 最も弱々しい一茎の葦なのに
人間の弱さか
思考する能力を持つ偉大な存在だと
人間の強みね
そうなの だから 折角の脳を働かせるべきよ
わし 働かせてるよ
そのつもりは つもりだけに終わるわ
怖いね
ただの弱々しい葦だけで終わりたくないでしょ
そうだな
人間は 宇宙に押し潰され包み込まれる存在に過ぎ
なくとも 思考で宇宙を包むことが出来る
よく分からんけど
あのね 考えることは生きてる証拠なのよ

(笑 131) 何を食べようか



今日の夕食は
カレーにしようかしら
カレーかあ
ほっこりしないの
いや 久しぶりだね
トンカツもいいわ
そうだな
でも駄目 食べると ぐうたらになりそう
なんだよ
それとも焼き鳥はどう
チキンねえ
飽きたかしら
そんなことないぞ
その顔じゃ ノ～ね
どんな顔すりゃ良いんだ
え～と 秋の味覚に決めたわ
待ってました
へ～え
土瓶蒸しに松茸ごはんといくか
そんな贅沢な夢 見ないで

(笑 132) 気持ち新たに



なんだ つまらんこと 憶えとるな
大事なことよ
そんな昔のことは忘れたぞ
昔って あなた さっき言ったことも憶えてないで
しょ
えっと 何だったっけ
電球 取っ替えるとか
そうかあ
部屋が暗いままよ
そうだった パツと明るくしないとな
そうでなくとも 一人と一匹じゃ寂しいんだから
いっぴき って
あのね ボ～っとしてないで役に立つことやってよ
何をよ
だから 電球でしょ
あっ 忘れてた
もう だめ 限界
えっ 何が
あ～あ もういいわ
なんか知らんけど 諦めないで
そうね 明日はあしたの風か

(笑 133) それ詭弁みたい



最近 歳とってきたなあと感じるよ
誰が

わし 自分のこと
それはそうでしょ 私もよ

いや 思考がだんだん幼少期に戻ってるみたいだ
どんな風に

例えばね どうして 宙に浮かばないで二本足で立っ
ておれるのか 海水はなぜ地球から溢れないのか

そう言えば 不思議ねえ 多分重力の影響でし
よ 詳しくは知らないけど

そうなんだね 地球の自転にも関連してる
えっ 自転と

元々地球の中心へ引っ張っている引力と 自転によ
って外に飛び出そうとする遠心力の差が重力なんだ
ね その重力の方が勝ってるから地球に張り付いて
るんだ

でも倒れないでいられるのは何故なの

人間に生来備わった平衡感覚が働いているからね

そうか 重力のない宇宙飛行士がふわふわ浮
いている姿を思い出すわ

海水もしかり 地上の生物や物体はすべて重力の懷
にある

何だか 不思議ねえ

こんな現象は序の口 世の中は不思議で満ちてるよ

そうね 私達が生まれて消えるまでに遭遇す
る現象や出来事は不思議な世界なのね

だろう だから わし いつもボ~としてるの

それ 関係ないわよ

(笑 134) 日頃の姿勢



隣のコートでよくプレイしていた紅一点の 奥さんだけ
ど

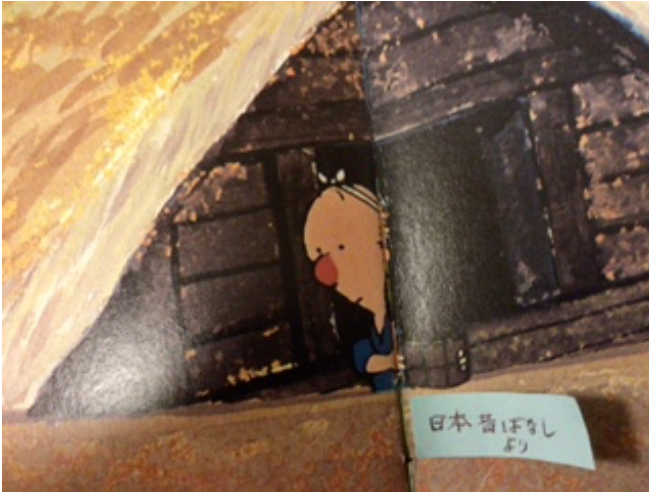
ああ あの気さくな方
旦那に聞いたら股関節を痛めたんだって
そうだったの
この前手術して今リハビリ中らしい
大変ね
又 復帰できるかな って心配してたよ
お気の毒ね 無理出来ないかも
健康の為に続けられると良いけどね
歳をとってくると ちょっとのはずみで腰痛めたり
それこそ何かに躓いても骨折するから怖いね
そうなんだ 階段踏み外したり 道の段差で躓いて骨折する仲間もいるよ
歩く時に足先がしっかり上がってないので引っ掛けるのね
前屈みで チョボチョコボ歩かず 踵から足の指先へ体重移動し足の裏全体を使って歩く
視線も上げてゆっくりと
わしに言われてるみたいで 頭が痛いぞ
だれでも年寄りはその傾向にあるわよ
年取っても矍鑠として歩いてる人は素敵だね
何事もそうね
目標をしっかり持って昨日よりも今日 今日よりも明日と
そうすれば きっと 良いことあるよ

(笑 135) 調子狂うなあ



あっ 忘れてた
なに
わし 来週の例会 欠席
珍しいな 腹痛にでもなる予定か
アホこけ 免許証更新で 教習所に行くんや
返上やないの
そんな勿体無いことするか
そやけど その歳やで
歳に関係あるかえ バリバリや
目や記憶力の検査 運転操作も大丈夫なん
か
認知症なんか 寄り付かんぞ
凄いな
こっちが検査官を圧倒するんだ
ええっ
調査に対する即答力 巧みな運転技術
あんなあ
わしには 年齢を超えた勢いがある
そうみたいやな
3 年毎の挑戦へ向けて今日もメリハリ体操
付き合っておれんわ

(笑 136) 話しかける世界



あら 誰もいないじゃない
うん

話してたようだけど
水を撒きながらね

誰と
植木や草花に

えっ
喉かわいたでしょ さあどうぞ

変なの
でも 嬉しそうなんだ 有難う って

そうなの
生きてるんだ 思いが通じるんだよ

優しいのね
柿の木も 蜜柑の木にも 甘くなって欲しい
という願いを込めてね

そう言えば 北海道の牧場で 牛舎と牧草地の
行き来を 牛の自由にさせてるところあるよ ストレ
スの軽減に役立ち 面白いことに 牛の方から
次々と搾乳場にやってくるらしいわ

ああ それは最近注目のフリーストールバ
ーンね 規模拡大と管理の労力削減に役立つよ
うだ 従来の 繋ぎ飼い式牛舎と長短あるけど
そしてね 牧場主は 一頭一頭に話しかけてるの
よ 牛の方もそれを理解してるみたいに応えてる
のね 楽しそう

そうだろ 話しかけることは大事だね 自分
の思いが きっと 動植物にも伝わるはず まし
てや 人間の世界では不可欠だよ
私にも もっと話しかけてよ

ええっ なっ 何を

(笑 137) まだ なんかやれるぞ



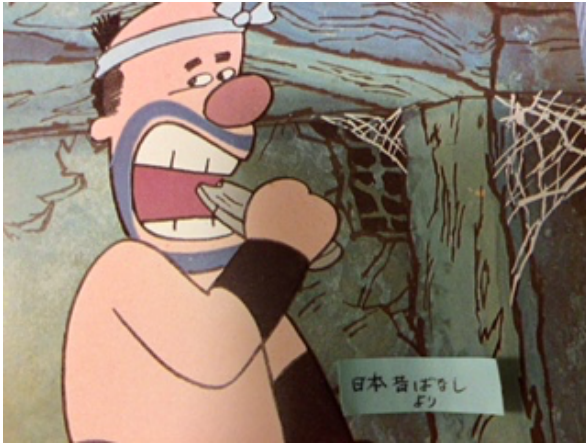
なんだか 雨で冷えるわ
このところ 変な天気だ
ついこの前まで猛烈に暑かったのに
夏が長いと思ってたら 立て続けに台風が襲来
し ぐずついた空模様
鬱陶しいね
暦の上では 絶好の行楽シーズンだけど
こども達のスポーツ行事もこの天候では可愛そうね
紅葉もそこそこに すぐに晩秋かな
そんなに 先を急がないで
しかし 確実に冬は訪れるよ
夏が暑かっただけに今度は極寒の地獄かしら
この気温の落差は年寄りには殊更に厳しいぞ
それだけでなく 毎日が大変なのにな
何が
歩くこと 噛むこと 考えることよ
そうか そうだね 忘れてたよ
しっかりしてね
大宇宙の 400 垓個の星のその塵にも満たない
けどなあ
小さな小さな存在だけど とっても大きくなれるわよ
よし 一丁 走ってみるか

(笑 138) 無くなりきれるか



あゝもう ついて行けない
どうしたの
流れが早過ぎる
何の流れよ
時流っていうのかな
時は変わらないわよ 正確に刻んでいるだけよ
でも なんか次から次へと 世の中 変化してるよ し
かも 加速度的に
分かった ついて行くのに四苦八苦なのね
うん
歳と共に訪れる思考能力や行動力の退化よ
嫌だなあ
ますます 流されて行くわよ 誰しものが辿る道
ちょっと 時間が止まってくれないかなあ
あのね パソコンみたいにフリーズしないわよ
そうかあ
だって 時間が止まるってことは 地球の公転も
自転も無くなるの 生成とか発展 消滅も無い 全ての
終焉
怖いね もう考えるの止そう
でも 変ね
何が
時間が無くなって その状態が続くこと自体 そ
こに又時間が

(笑 139) 少し知って 少し知られて



あつ 又自治会から退会のお知らせよ
回覧に載ってるの
引っ越しされたのでしょ きっと
えっ 誰
よく知らない どの辺に住まわれてたのかも
同じ町内なのに せいぜい 150 前後の世帯の
知らなかったのって なにか寂しいわ
子供やペットを通じての繋がりは今や無いもの
ね
サークルとか趣味の集まりにも縁遠いし
コムフェスタ どんど焼きは 良い機会だけど
年に一回だよ
そんな状況で良いの
疑問だね
地区の防犯 防災の為 団結協力を呼びかけてるの
に
なにか 肝心なところが抜けてるんだ
個人情報保護も大切だけど もう少しなにかオープン
になりたいね
長屋のハつつあん熊さんみたいに 緊急時にお
年寄りを担ぎ出せる情報網と勢いは持ちたい
老人と老人の支え合いの為にも
名札を付けて歩くわけにはいかないけど 家マ
ップぐらいは備えたいね
せめて町内で行き合ったら 互いに笑顔で挨拶したい
わ
そうだね 今日も又 笑みの弾ける秋の坂道

(笑 140) その言葉 生きてる



己の物差しだけでは何も測れんわ

何をよ

えっ うん 何事も

そうね

どうして出来ないのと思ってもね

きっとそれぞれ事情があるのよ

きのう 家族の介護に明け暮れてる仲間を知ったよ

自分の悩みとか 身内の心配事は打ち明けにくいわ

だから 自分本位に 簡単にその人や物事を判断するのは危険だと思う

分かるわ

何か物事を考える時には 一旦冷静になって 先方の立場になってみる事だね

なんでもそうよ

中学の教頭が朝礼で繰り返してたメッセージが今になって響く

なんて

何がどうなのか 何故そうなのか ではどうすれば良いのか 君ならどうするか

事実の捉え方ね

立ち位置の拠り所の一つなんだ

大事なことだわ

当時はたいして受け止めてなかったけどね

悪ガキも 年老いて目覚めたか

(笑 141) 確かに 誰かが



わしには指紋があるぞ
だからどうなの
しかも 両手で 10 個も 両足指もいれて 20 個
そうね
紋様は みな それぞれ違うんだ
それで
生まれつきだよ しかも再生するよ
そうね
世界 80 億の人間 皆違うんだ 同じものは無い
だから両手両足の指で 1600 億の指紋
何か言いたい事あるの
なんだか 凄いだろ 次に生まれる時も又違う紋
様だ
確かに不思議ね 顔にも言えるけど
わしは 唯一無二の存在である 一体誰が創造
したのだろう
ところで指紋があるのは何故なの
指先を敏感にするのと 物を掴みやすくするため
にある
人間以外に持ってる生き物って
猿 ゴリラ チンパンジー などの霊長類や コア
ラ ネズミ イタチ ムササビかな
なるほど樹上生活を主としているみたいね
そうだね
でもあなた お願いだから 森に帰らない
で

(笑 142) 自然の懷に



ああ やっぱり 紅葉はいいなあ
緑の中の赤と黄の濃淡が 光を帯びて幻想的だわ
昼夜の寒暖差が大きくなると益々鮮やかになる
秋の醍醐味の一つね
暑さに茹った身にはひんやりとした青空の下で
別世界に思える
気温が下がり日照時間が短くなるにつれ
光合成の効率が低下し始め 葉を落とす準備を始めるわ
そうなのか
葉の中にあるクロロフィルの分解が進み
元々存在する黄色の色素カロテノイドが目立つ様になるらしい
イチョウやエノキだね
黄葉する木ね
赤くなるのはなぜなの
クロロフィルの分解と同時に 赤色の色素アントシアニンが日光のもとで新しく作られるの
モミジ ウルシ ニシキギ ソメイヨシノ か
そうね 紅葉の木よ
葉の栄養分は幹や枝に回収されて やがて落葉し冬を迎える
そんな季節の変化を楽しんでいたいわ
そうだね
地球は 46 億年も太陽の周りを回りながら創造してるのよ
その大自然の摂理を感じながら生きていこう
大きく出たわね

(笑 143) そよ風を感じたい



なんかスツキリせんなあ
どうしたの
気持ち新たに いつもの散歩道だったのに
それは感心だわ
どうってことない ルーティンのひととき
何かあったの
出会った人に会釈したら 素知らぬ顔で通り過ぎ
たの
きっと 気がつかなかったのよ
でも目を合わせたよ
突然 変な人に会ったからよ
変なって わし 近所の老人だけど
怖い顔した空き巣とでも思われたのね
それは無いだろう こんな明るい朝に
それか ちょっとしたタイミングのズレよ
そうであってほしい
こんな狭い地域社会なんだもんね
そうだよ 人類みな兄弟だ
どこかで聞いたセリフだわ
仲良く暮らしていかなきゃあ
忍耐と寛容でね

(笑 144) 独りぼっちはダメ



周囲を見渡そうよ
なんなの 急に
お互いを もっと気に掛けたいね
そうかな
あまりにも無関心 良くないよ
何かに夢中だと注意が薄れるのよ
スマホ見ながら 横断歩道を渡ってる
あれ確かに危ないわ
声かけにもよそ見でどこ吹く風
気が萎えるわね
相手の顔見て 目を見て話してよ
表情を読むってことも大切かも
もっともっと 何事にも関心を持ちたい
それはそうだけど
何故なんだろう
物事に無頓着なの 周りを気にしてないの
よ
それこそが気になるね もっと気にして欲しい
人は ひとだけど
イツツ ア スモールワールドさ
そうね たった 200ヶ国の世界なのに

(笑 145) 無理せず 挑戦を



どう 調子は
うん ありがとう まだまだ元気や あんたは
ポチポチや
お互いに無理はきかんぞ
そうだね 気の緩みが思わぬ怪我を生むからね
階段の上り下りも一段一段確認しながらだよ
そうなんだ 以前は 手摺りなんかと思ってたけど
手摺りな
結構 役に立つやろ
大助かりなんや
食べるほうは
ああ 順調にこなしてるよ
順調って 食べるの そんなに大変か
何にするか 段取りもあるしな 満足する味が
どうか 気にもなるやろ
あんたが作るんか
おう わしや 他に誰もおらんがな
いや あのう 奥さんは
奥様は 客席に座られてます
三つ星の審査みたいやね
あなた作る人 私食べる人 だって

(笑 146) 身近な存在



やがて限界を悟る時が来るんだ
出来なくなるってことね
ああ 当然のことのようによった事が
そりゃそうよ 不死身じゃないよ
あれっ どうだったかなって
気がついたら言ってあげてるわよ
それが 度重なったら ちょっと要注だね
だから 自分の日常の役割を持つことは大事な
の
そうね 進んでやってるでしょ
取り上げるのは良くないと思うから
ゴミ出しも 食事の支度も頑張ってるよ
有難いわ それが健康法かも
結構 身体を動かし 段取りには頭を使うしね
わたしにも 役立ってるわ
そうなの
だって 上手くやれてるか改善の余地はないか
とチェックするの これでも 頭と気を遣ってるのよ
はて又 このところ難義な仕事も加わってきたぞ
なに
濡れ落ち葉の掃き掃除
ああ それは自分で解決して

(笑 147) 待ったなし



あゝあ 来ちゃったな
そうだな
ちょっと油断してるうちに
わしなんか うとうと寝込んでたわ
えっ 何しとんや この大事な時に
ほんまや 堪忍
覚悟は出来とるんか
そんなこと言うても
しっかりせんかいな
ちょっと待ってくれ
アホか 待ってくれるわけないやろ
あかんか お願いしても
あかんわいな
しょうないな
どないすんねん
そやから諦めるわ
取り返しつかんで
ひゃあ ところで 何が来たんや
気付かんのか 師走や しわす
あっ どうりで 坊さんがあっちこっち走っ
とるなあ

(笑 148) 歩み寄ろうよ



人間って 愚かだねえ
えっ あなたも人間よ
うん 僕も含めて
また何かやらかしたの
いや 今日の朝刊のコラムだよ
まだ読んでないけど
あのね 日常の尊さは 非日常になって初めて気付くんだって
そうなの
普段と違うことに会った時に 心が躍り幸せを感じるのは 平穏無事な日常あつてのことだ
あっ わかるような気がする
ただね その非日常が 悲慘な戦争や事故であつてはならない
そうよね
芸術やスポーツで色とりどりの喜びに出会うことで 日常の平和に感謝したいね
美しい自然に触れ心休まり 楽しく会話が弾む時にもね
お互いを傷つけあってから その愚行に気づいても取り返しはつかないよ
愚かとは そのことね
そうなんだ
気遣いの無さ 自分のことしか考えてないからだわ
争いを避ける鍵は 相手への思い遣りの心に託されている
相手の立場にもなって 考えるってことね

(笑 149) 危なっかしいけど



さっきから行ったり来たり
うん
何してるの
何だっけ
あのね お百度踏んでるんじゃないのよ
思い出せん
ああ そう
もうええわ
そうね またそのうち思い出すわよ
うん
家の中だから良いけど バスにでも乗ってたら大
変よ
そうだな どこで降りるんだか 何で乗って
るのか
悲劇ね
笑い事じゃないぞ 重大事に
そうなんだけど
困ったなあ すぐ起こりそうだ
えっ そうなの
予感が
じゃあ まだ大丈夫だわ 自覚症状あるのね
なんだよ それ

(笑 150) これが我が道



あなた最近 ボ~としてる事多いけど

うん

何してるの

えっ ボ~としてるんだ

何か考え事なの

いや ボ~っとだ

どうしたのよ やる事ないの

滅茶苦茶ありすぎるよ

じゃあ やったら

あんなあ

じいっとしてると腐るわよ

よく言うわ

それでも 退化していく過程なんだから

あのね この暫しの時間が大事なんだ

またまた そんなこと言って

知らんだろうけど この のんべんだらりの
時間が貴重なんだ

あらまあ

厳しい労働から労働への谷間の 休息と
憩いの瞬間こそに俺固有の尊厳を高める生き方
が潜んでるのよ

屁理屈に染まった おっさんねえ